

ベンチャー・スタートアップ企業の支援状況と成果について

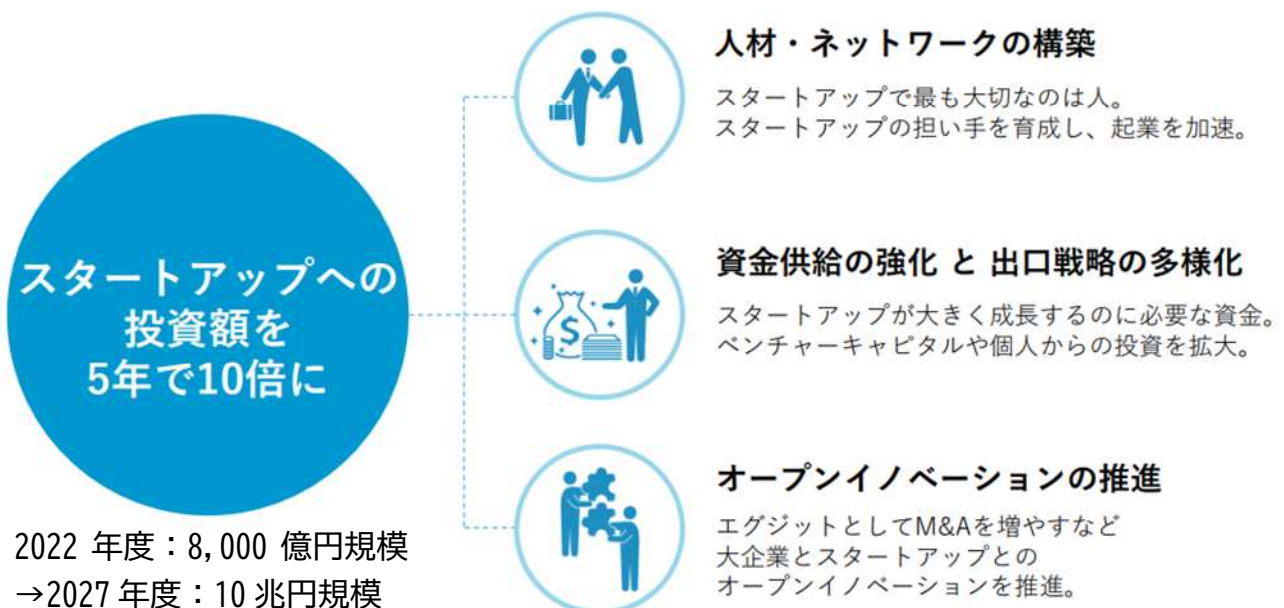
1 国の動向

(1)国は、スタートアップを以下のとおり位置付け。

- ① スタートアップとは、一般に、以下のような企業をいう。
 - ・ 新しい企業であって、
 - ・ 新しい技術やビジネスモデル(イノベーション)を有し、
 - ・ 急成長を目指す企業
- ② スタートアップの意義
 - ・ スタートアップは、経済成長のドライバー。
将来の所得や財政を支える新たな担い手。
 - ・ スタートアップは、雇用創出にも大きな役割。
 - ・ スタートアップは、新たな社会課題を解決する主体としても重要。

(2)国は、スタートアップの成長を促進するため、令和4年に「スタートアップ育成5か年計画」を策定。

□ 2022年1月の岸田総理の「スタートアップ創出元年」宣言を受けて、同年11月に、今後5年間の官民によるスタートアップ集中支援の全体像をとりまとめ。人材、資金、オープンイノベーションを計画の柱として位置付け、網羅的に課題を整理。



※出所：経済産業省「スタートアップ育成に向けた政府の取組」(令和6年9月)

2 北九州市産業振興未来戦略における位置づけ・取組

- ・ 市内企業、大学、ベンチャーキャピタル等と連携した、市内スタートアップの創出、成長支援(資金支援、伴走支援)の強化
- ・ 市内企業(大企業、地域中核企業、アツギ企業)とスタートアップとの掛け合わせによるイノベーション創出やレガシー産業の生産性向上の促進
- ・ 上記の取組を加速させるため、多様化・複雑化する行政・地域課題や、大企業・中小企業が抱える課題を集約化・見える化・共有化する「(仮称)イノベーション共創プラットフォーム」を構築し、スタートアップが有する新しい技術や斬新なアイデアとのマッチングを推進することで、課題解決先進都市を目指す

3 北九州市のスタートアップ支援【推進体制】

(1)スタートアップ・エコシステム推進拠点都市

令和2年に、内閣府から、政府、政府関係機関、民間サポーターによる集中支援を実施することで、世界と伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成を目指す「スタートアップ・エコシステム推進拠点都市」に選定

(2)拠点都市において北九州市が目指す将来像

北九州市の強みである「環境・ロボット」やDX分野を核にテック系エコシステム拠点都市の形成を目指す

(3)推進体制

北九州市 SDGs スタートアップエコシステムコンソーシアム
・産学官金62団体が加入

4 北九州市のスタートアップ支援【個別】

スタートアップを生む環境づくり

(1)創業支援施設「COMPASS 小倉」

≪目的≫ 創業や成長に向けた伴走支援と場の提供

≪取組≫

① COMPASS 小倉アクセラレーションプログラム

- ・ 市内からユニコーンに成長するスタートアップを輩出するためにCOMPASS 小倉が独自に行う支援プログラム
- ・ アイデア段階の企業を選抜し、ビジネスに精通した各専門家が



短期集中型で伴走支援を実施

- ・ 令和6年度は3社(者)を採択
- ② インキュベーションマネージャー(常駐)による創業相談・伴走支援
- ③ コワーキングスペース及びスモールオフィス等の貸し出し

(2)国家戦略特区の活用

≪目的≫ 起業家に対する利便性の向上・創業支援の強化

≪取組≫

- ① 開業ワンストップセンター(法人登記等の開業手続支援)
- ② 雇用労働相談センター(労務管理に係る相談対応)
- ③ スタートアップビザ(外国人の起業に係る在留資格の要件緩和)

(3)スタートアップ・起業家育成プログラム補助金

令和6年度新規事業

民間による起業家育成を促進するため、民間事業者等が行うスタートアップ等の起業家を対象としたアクセラレーションプログラムに対して補助金を交付(上限100万円)

(4)アントレプレナーシップ教育

若年層の起業家精神を育むため、小中学生がスタートアップとの交流を通じて、社会課題の発見や解決アイデアの考え方などを学ぶキャリア形成ワークショップを開催



(5)大学発スタートアップの創出

JST(国立研究開発法人科学技術振興機構)のスタートアップ・エコシステム共創プログラムに、九州工業大学と九州大学を主幹機関とするパークス(九州を中心とした大学等19機関が参画)が採択され、大学発スタートアップの創出に取り組む(北九州市は幹事自治体として連携)

(6)北九州市創業支援事業計画の作成支援

北九州商工会議所、福岡ひびき信用金庫及び北九州市等の実施機関で行われる「特定創業支援事業」の支援を受け、北九州市が証明書を交付した創業者に対し、創業時における以下の費用負担軽減措置を適用

- ① 会社設立時の登録免許税の軽減措置
- ② 創業関連保証の利用開始月の前倒し
- ③ 日本政策金融公庫新規開業支援資金の貸付利率の引き下げ

(7)自治体制度融資等による資金繰り支援

北九州市、福岡県の自治体制度融資及び日本政策金融公庫の融資により、通常であれば経営実績がなく融資を受けにくい開業時の資金繰りを支援

初期のスタートアップに対する成長支援

(1)企業変革・スタートアップ・グロースサポート事業 令和6年度新規事業

≪目的≫市内スタートアップの成長支援及びイノベーションの創出

≪取組≫

- ・ 市内スタートアップの研究開発、実証、事業展開及び人材採用に対し、資金支援・伴走支援を行う「市内スタートアップ成長支援プログラム」
- ・ スタートアップによる行政課題の解決及び市内企業との協業に対し、資金支援・伴走支援を行う「イノベーション支援プログラム」
- ・ 令和6年度は13社を採択

(2)グローバルアクセラレーションプログラム

≪目的≫産官金一体となったスタートアップ支援の促進

≪取組≫

- ・ 市内の大手企業や金融機関14社が組織した実行委員会による民間主体の支援プログラム
- ・ 事業拡大が期待されるスタートアップに対し、専門家による伴走支援や投融資・市内企業との協業に向けた支援を実施
- ・ 令和6年度は4社を採択

(3)認定ベンチャーキャピタル制度

≪目的≫スタートアップの資金調達に対する支援

≪取組≫

北九州市が認定したベンチャーキャピタル(29社)が、スタートアップ支援施策に協力

- ・ スタートアップの資金調達を支援
- ・ 有望なスタートアップの紹介
- ・ スタートアップ支援施策に係る助言

イノベーションを生み出す仕組みづくり

(1)(仮称)イノベーション共創プラットフォーム

令和6年度新規事業

≪目的≫ スタートアップを活用した課題解決と、これによるスタートアップのビジネス機会の創出及び共創による企業のイノベーションの創出

≪取組≫

- ・ 北九州市の行政・地域・企業が抱える様々な課題を、プラットフォームに集約化・見える化・共有化し、スタートアップが有する優れた技術・斬新なビジネスアイデアや、機動性・柔軟性の高さを最大限活用して解決するためのプラットフォームを構築
- ・ 課題とスタートアップを、コーディネーターがマッチング

(2)スタートアップ都市推進協議会を通じた都市間連携

≪目的≫ 連携によるスケールメリットを生かしたスタートアップの支援

≪取組≫

①設立趣旨

スタートアップ都市づくりに先進的に取り組む自治体が、地域の個性を生かしたロールモデルとなり、経済関係団体とも連携し、日本全体をチャレンジが評価される国に変えていくことを目指す。

②設立年月日 平成25年12月23日

③加盟自治体(11自治体)※加盟順

福岡市、浜松市、つくば市、青森市、千葉市、別府市、熊本市、富谷市、北九州市(令和5年7月加盟)、高岡市、鹿児島市

④主な活動内容

- ・ 「JAPAN STARTUP SELECTION」
自治体のスタートアップと首都圏企業等とのマッチングイベント
- ・ 自治体間でのノウハウ共有
スタートアップ支援施策やインキュベーション施設に係る情報交換等
- ・ 一般社団法人「熱意ある地方創生ベンチャー連合」との連携
企業・自治体・国等が参加する「地方創生ベンチャーサミット」の共同開催

5 スタートアップ支援の成果

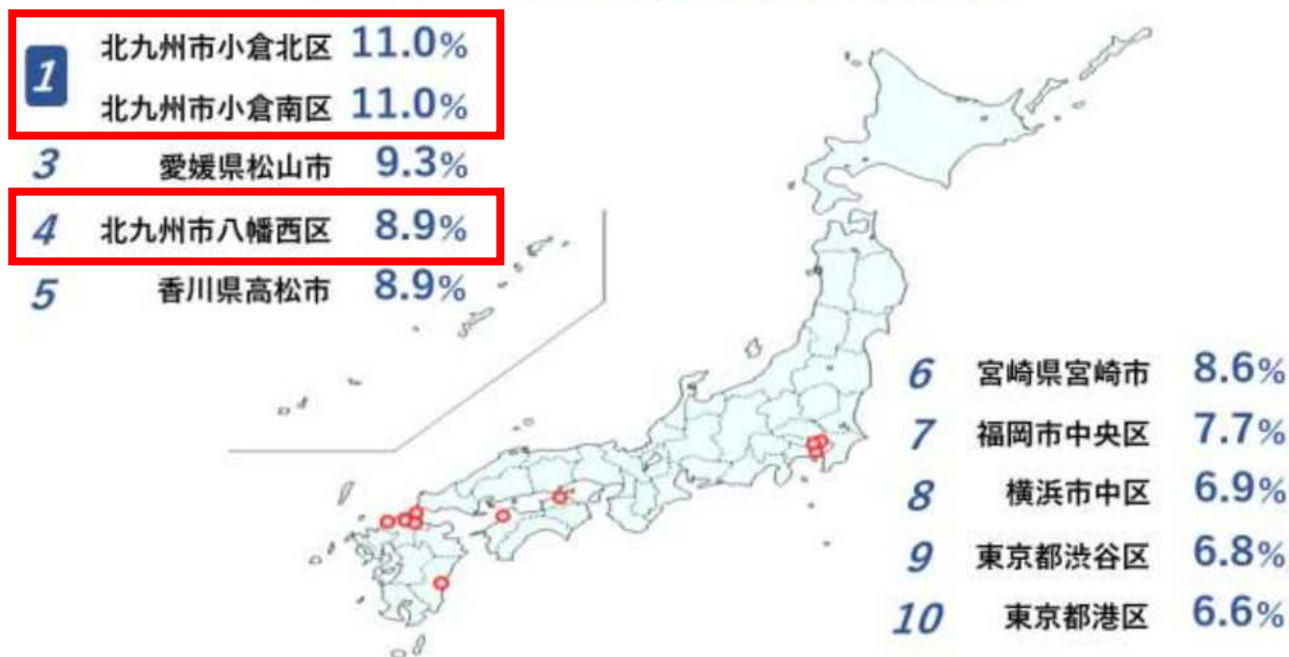
(1)有望な市内スタートアップの誕生

<p>① 株式会社クアンド</p> <ul style="list-style-type: none">・ 製造業やメンテナンス業などの現場向けビデオ通話アプリ「SynQ Remote」の開発・展開	<p style="text-align: right;">J-Startup</p> 
<p>② 株式会社 EV モーターズ・ジャパン</p> <ul style="list-style-type: none">・ 世界最高レベルの低電力化とバッテリーの長寿命化を実現した量産型商用 EV の開発・販売・ 約66億 6,000 万円の資金調達を実現	<p style="text-align: right;">J-Startup KYUSHU</p> 
<p>③ 株式会社TriOrb</p> <ul style="list-style-type: none">・ 3つの球と3つのモータで構成されるシンプルな機構で、360度全方向に自由自在に移動できる移動プラットフォームの開発・販売・ 九州工業大学発・産業技術総合研究所発	<p style="text-align: right;">J-Startup KYUSHU</p> 
<p>④ KiQ Robotics株式会社</p> <ul style="list-style-type: none">・ ロボットハンドツール「ラティス構造柔軟指」の開発・販売・ 九州工業大学発・北九州工業高等専門学校発	<p style="text-align: right;">J-Startup KYUSHU</p> 

(2)「新興・スタートアップ企業」の出現率が全国トップに

株式会社帝国データバンクが発表した『全国「新興・スタートアップ企業」の動向調査(2023年)』における、「新興・スタートアップ企業」の出現率(※)で、小倉北区及び小倉南区が11.0%で同率1位、八幡西区が8.9%で4位となった(※スタートアップの他、スモールビジネスを含む)。

「新興・スタートアップ企業」の出現率 上位 10 市区



(3)KPI

① スタートアップ・エコシステム推進拠点都市(令和6年9月現在)

KPI	現状	目標値
スタートアップの創出	85社	100社 (～令和6年度)
ユニコーン企業の創出	0社	1社 (～令和6年度)
スタートアップビザの活用	5件	20件 (～令和6年度)

② 北九州市産業振興未来戦略

KPI	現状	目標値
スタートアップのイグジット (株式上場・事業売却)件数	令和6年度から 集計開始	3件 (令和6～10年度)
スタートアップの資金調達額	令和6年度から 集計開始	100億円 (～令和9年度)
スタートアップの誘致件数	令和6年度から 集計開始	50社 (～令和9年度)

北九州市のスタートアップ支援 全体像

方向性

スタートアップを生む
環境づくり

初期のスタートアップ
に対する成長支援

イノベーションを生み出す
仕組みづくり

COMPASS小倉

アクセラレーションプログラム

事業計画作成・資金調達・販路開拓支援

国家戦略特区の活用

- ・開業ワンストップセンター
- ・雇用労働相談センター
- ・スタートアップビザ

スタートアップ・起業家育成プログラム補助金

民間の起業家育成プログラムへ補助（100万円）

アントレプレナーシップ教育

小中学生向け起業体験プログラム

PARKS

- 九州工業大学、北九州市立大学など九州の大学等19機関による
- ・大学発スタートアップの創出
 - ・アントレプレナーシップ教育
 - ・プレCxO人材確保



北九州市創業支援事業計画

登録免許税の軽減措置等

企業変革・スタートアップ・グロースサポート事業

市内スタートアップ成長支援プログラム

市内スタートアップに特化した
資金支援・伴走支援・人材採用支援

- ・ディープテック枠 500万円×2年
- ・その他分野枠 200万円×2年
- ・事業展開枠 1,000万円×2年

イノベーション支援プログラム

市内外スタートアップによる課題解決・
市内企業とのオープンイノベーションへ
資金支援・伴走支援

- ・行政課題解決枠 400万円×2年
- ・市内企業協業枠 400万円×2年

グローバルアクセラレーションプログラム

北九州市の民間大手14社による販路開拓・資金調達支援 **YASKAWA TOTO**

イノベーション共創プラットフォーム

北九州市の行政・地域・企業が抱える課題とスタートアップをマッチング

認定ベンチャーキャピタル

北九州市が認定したVC
（29社）からの
資金調達を支援



融資制度

開業時の資金繰りを支援

スタートアップ都市推進協議会

- ・11自治体が加盟
- ・首都圏マッチングイベントの開催
- ・自治体間でのノウハウ共有
- ・「熱意ある地方創生ベンチャー連合」との連携

産学官金が連携したスタートアップ支援